

共有ツール

あ

く

し

ゆ

R4.2.1発行

静岡県伊豆の国市役所 福祉事務所  
保健福祉・子ども・子育て相談センター  
電話:0558-76-8010

伊豆の国市から、医療・福祉・介護に携わる皆様と共有したい情報を発信します。



# 2月のイベント



今月の1枚(伊豆総合高校にて)

## 伊豆総合高校より、大仁梅林へ ベンチが寄贈されます!

伊豆総合高校建築デザイン類型3年生が、大仁梅まつり実行委員会からの依頼を受けて、6月に現地ヒヤリング(住民や大仁地域包括支援センターより)を行い、約10か月の期間をかけて設計・製作をしたベンチが大仁梅林に寄贈されます!(2月中旬を予定)

大仁梅林は皆さんご存じの通り、大仁ホテル下一帯(60アール)に約600本・80種類の梅木があります。昭和52年より整備がはじまり、紅白梅やしだれ梅など大仁神社裏の斜面に広がっています。また、三福梅林(大仁中学校下)は昭和59.60年度卒業記念の梅林で、220本の見応えです。どちらの梅林も、地域の方々が年間を通して整備しています。両梅林は梅の時季だけではなく、四季を通して花を楽しむことができ、周辺の住民の皆さんの心地の良い憩い空間となっています。伊豆総合高校の生徒の皆さんが“ここに暮らす人たち”“梅林へ足を運ばれる市内外の人たち”のことを想い、製作したベンチに一度、腰を下ろしにいらしてみてください!

## インフォメーション

### ● 新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報

【3回目のワクチン接種について】

新型コロナウイルスの3回目の接種の実施についての方針が国から示されました。市としても、国の方針に基づき、接種体制を整えていく予定です。

○対象者・回数:2回目接種を完了した者のうち、原則8か月以上経過した18歳以上の者を対象に、1回の追加接種を行います。

○開始時期

\*医療従事者:令和3年12月以降順次(2回目接種終了から原則6か月以上経過した方から)  
\*市民:令和4年2月以降順次(2回目接種終了から原則8か月以上経過した方から)

【発熱等の症状がある方の相談先について】

○「かかりつけ医」のある方は、まずは「かかりつけ医」にご相談下さい。

○以下の場合には、「静岡県発熱等受診相談センター」にご相談下さい。

- \*発熱等の風邪症状があり、「かかりつけ医」がない場合
- \*発熱等の風邪症状があり、「かかりつけ医」など医療機関での診療が受けられない場合
- \*新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の通知を受け取った場合
- \*県外の保健所から「新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者にあたる」と連絡を受けた場合

(平日8:30~17:15)

(左記以外:土日祝日含む)

☎ 050-5371-0561 / 050-5371-0562

050-5371-0561

FAX 054-281-7702

054-281-7702


その他、詳細につきましてはホームページをご確認ください。


<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/shingatakoronakanrenjoho.html>



COVID-19感染症拡大防止のため、急きよ、中止や延期となる可能性もあります。  
各種会議等の開催については、各主催者にお問い合わせ下さい。


日	時間	イベント名	場所	主催
10	16:00 17:00	相談支援事業所部会	大仁庁舎 第5会議室	障がい福祉課 0558-76-8007
木	内容	事例検討⑨		参加 不可
15	15:00 16:30	認知症地域支援推進員連絡会/ 認知症初期集中支援チーム員会議	本庁 第1会議室	相談センター 0558-76-8010
火	内容	認知症カフェなどについての情報・意見交換/チーム対象者の選定・支援方法の検討		参加 不可
17	17:30 19:00	自主勉強会	大仁庁舎 第3会議室	相談センター 0558-76-8010
木	内容	事例検討		参加 不可
21	10:00 11:30	令和4年度向け いきいきサロン説明会	あやめ会館	社会福祉協議会 055-949-5818
月	内容	(相談センターより)いきいきサロン代表者へ向けた地区サロンへの支援に関する説明・専門職派遣など		参加 資料入手可
21	13:30 15:00	介護の会	葦山福祉・ 保健センター	社会福祉協議会 055-949-5818
月	内容	近況報告、おしゃべり		参加 歓迎
21	19:00 20:00	第4回 医療と福祉の多職種勉強会	Zoomにて	伊豆保健医療センター 0558-76-0111
月	内容	私/私の職場/私の職種で取り組んでいる「まちづくり」		参加 歓迎
22	13:30 15:00	長岡地域包括支援センター主催 地域ケア圏会議	アックスかつらぎ 多目的ホール	長岡地域包括支援センター 055-946-0692
火	内容	長岡圏域における高齢者への見守りネットワークの構築について		参加 資料入手可
22	13:30 15:00	訪問型サービスC評価会議	本庁 第1会議室	相談センター 0558-76-8010
火	内容	次年度に向けての事業内容の検討		参加 資料入手可
22	13:30 16:00	主任介護支援専門員連絡会	Zoomにて	相談センター 0558-76-8010
火	内容	サービスCの適用例、普及、周知について		参加 資料入手可
24	15:30 17:00	相談支援事業所部会	大仁庁舎 第5会議室	障がい福祉課 0558-76-8007
木	内容	研修 地域共生社会実現のために ～北九州市地域生活支援拠点事業～ 講師 北九州市障害者基幹相談支援センター長 横田先生		参加 資料入手可
25	10:00 11:30	令和4年度向け いきいきサロン説明会	くぬぎ会館	社会福祉協議会 055-949-5818
金	内容	(相談センターより)いきいきサロン代表者へ向けた地区サロンへの支援に関する説明・専門職派遣など		参加 資料入手可



会議名	千代田区移動支援 静岡県立大学・視察対応		
日時	2022/1/12	場所	千代田団地公園～古奈地内
参加者	6名	静岡県立大学岸准教授、千代田区見守り隊代表、いちごの里職員、市役所 地域づくり推進課・相談センター 職員	
内容	千代田団地公園～古奈・スーパーまでの移動支援の様子を視察		
<p>静岡県立大学経済情報学部岸准教授が千代田区見守り隊とあやめ会いちごの里との移動支援を視察に来られました。岸准教授は静岡市の公共交通会議の委員でもあり、交通部局と福祉部局の関わり、連携についてを研究。また、住民主体の移動支援が上手く回っているケースは、どこがポイントなのか視察されていました。</p> <p>千代田区の移動支援は令和2年7月から開始。1年が経過しますが、一定数利用されている方がいて、見守り隊の地域課題に積極的に取り組む姿勢が長く続く秘訣だと感じました。</p>			
			担当 野口

実施名	介護予防スタッフミーティング		
日時	2022/1/14	場所	大仁庁舎2階 第1会議室
参加者	16名	介護予防スタッフ、地域包括支援センター、相談センター職員	
内容	楽だら体操教室実施の注意事項について		
<p>楽だら体操教室を安全に実施するためには、体操スタッフの働きかけが大変重要になります。そこで、各体操教室の注意点や、新型コロナウイルスの感染対策の徹底について情報交換をし、参加者が安心して参加できるようにするための話し合いを行いました。</p> <p>来年度に向けて、2月末頃からは各体操教室を回り、令和4年度の体操教室参加申込書や体調チェックカードをお渡しする予定です。新たに体操教室への参加希望がある方は、相談センターへまずご一報ください！</p>			
			担当 川口

会議名	介護の会		
日時	2022/1/17	場所	菫山福祉・保健センター
参加者	10名	現役介護をされている方、介護経験のある方、伊豆保健医療センター、清水医師	
内容	近況報告、会休止中にあった出来事など茶話会		
<p>R3.7～12月までコロナ禍による感染対策のため、会が休止されていたため、その期間の出来事や最近の様子などについて各参加者より報告がありました。休み期間中も、メンバー間で手紙のやり取りや電話を掛け励まし合ったりと、繋がりが続けておられた報告も聞かれました。</p> <p>参加者の中には、介護経験者からのアドバイスを受けて「夫の介護の方法や考え方がいい方向に向いていった。」等の明るい声も聞かれました。また、実母や姑を看取った介護経験者の方からは「『人生は人との出会い！』この期間中に笑いヨガのインストラクターを撮りました！」との報告もあり、みんなで少しだけ笑いヨガ体験もしました。次回は2月14日(月)の予定です。ご興味のある方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。</p>			
			担当 古野

会議名	順天堂大学医学部付属静岡病院/市共催 第5回 地域づくり会議		
日時	2022/1/31	場所	Zoomミーティングにて
参加者	約110名	医師、消防署救急隊、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、訪問看護師、医療機関相談員、地域包括、行政 等	
内容	『多職種が継続的にその人らしい生き方を支える』本人・家族の意思決定支援のためのプロセスについて		
<p>順天堂大学医学部付属静岡病院の在宅看護専門看護師の村瀬看護師より、切れ目なく対象者を支援することに関する講演と、入退院支援室の小林看護師より事例報告がありました。実際の事例を通し、医療機関と地域が多職種が、対象者のその人らしさや“生き方”を支え抜くことの大切さについて、参加者間で共有することができました。参加者からは「認知機能の低下があり、自身の状況把握や理解ができない方の本人の意思の尊重について悩む」「対象者が望んでいなかった医療を、医療側がすすめている現状がまだある」といった声が挙がり、明確な答えが見つからない中でもみんなで“大事なことはなにか”を共有することができました。</p>			
			担当 高久

**注目!**

## 包括社会福祉職部会にて！ 高齢者虐待について話し合いました



1月14日、地域包括支援センターの社会福祉職の皆さんと2カ月毎開催している『社会福祉職部会』にて、高齢者虐待対応力研修を受講しました。

長寿福祉課の職員も参加し、「虐待の防止」「虐待の早期発見」「虐待の解消に向けた早期対応」のために、包括、行政として「できること」「できないこと」について話し合いを行いました。

### 令和2年度 高齢者虐待防止法に基づく調査結果(静岡県)

- ・相談・通報件数  
施設従事者等による虐待 46件(対前年度2件 4.5%増)  
養護者による虐待 920件(対前年度114件 14.1%増)
- ・相談通報者  
「介護支援専門員」が最も多く、次いで「警察」「家族・親族」
- ・被虐待高齢者中の認知症者 60.4%
- ・家族形態 未婚の子と同居 37.8%、夫婦のみ世帯 21.7%
- ・虐待者の被虐待高齢者との続柄  
息子 46.2%、夫 22.0%、娘 12.1%、妻 6.4%
- ・虐待への対応策 分離 40.8%、ケアプランの見直し 36.2%

### 高齢者虐待対応のポイント

地域包括支援センターや市へ言うとおおごとになる、必ず分離となってしまう、と思って、通報を控えていませんか？

高齢者虐待への対応は、現に起きている虐待を解消させ、安全で安心な環境の下での生活を再構築し、高齢者の権利擁護を実現させることを目的に行います。

そのための方法を、養護者への支援も含め、関係者で話し合い実施していきます。

『虐待かもしれない』『虐待につながる可能性がある』時点で地域包括支援センターや市へご相談ください。